發行貨幣高並ニ當初ヨリノ累計

種類	昭和八年九月	當初ヨリノ累計
金貨幣 二十圓	圓 —	圓 九四四、五〇〇・〇〇〇
同 十圓	—	一八、六九一、七八〇・〇〇〇
同 五圓	—	四七、一三八、〇六〇・〇〇〇
同 二圓	—	一、七六七、一一六・〇〇〇
同 一圓	—	二、〇三六、六五六・〇〇〇
計	—	七〇、五七八、一一二・〇〇〇
通貨幣法ニ據リ換算シタル高	—	一四一、一五六、二二四・〇〇〇
金貨幣 二十圓	—	一、〇一五、八一三、九四〇・〇〇〇
同 十圓	—	二〇二、五四四、〇六〇・〇〇〇
同 五圓	—	六、八三八、六〇〇・〇〇〇
銀貨幣 一圓	—	一六三、〇七七、〇四三・〇〇〇
同 貿易銀	—	三、〇五六、六三八・〇〇〇
同 五十錢	—	三六六、六六六、七二三・〇〇〇
同 二十錢	—	三八、三二八、三七三・〇〇〇
同 十錢	—	三二、七八六、六〇八・一〇〇
同 五錢	—	二、五二六、七一〇・二〇〇
白銅貨幣 十錢	—	六六、〇五〇、〇〇〇・〇〇〇
同 五錢	—	無孔 九、一八八、八八九・八〇〇 有孔 二七、〇五〇、〇〇〇・〇〇〇
ニッケル貨幣 十錢	〇・八〇〇	〇・八〇〇
同 五錢	〇・三〇〇	〇・三〇〇
銅貨幣 二錢	—	五、五一四、〇五三・二一〇
同 一錢	—	四、八八一、七四一・四九〇
同 半錢	—	一、九七七、七六四・七六〇
同 一厘	—	四四、四九一・五三〇
青銅貨幣 一錢	—	一六、三〇〇、〇〇〇・〇〇〇
同 五厘	—	三一〇、四〇〇・〇〇〇
總計	一・二〇〇	二、一三一、九五三、一四九・三四〇

〇產業

◎獎勵金交付　昭和八年度ニ於テ左ノ通交付スル旨本月一日指令セリ(農林省)

府縣	獎勵事項	金額
宮城	小麥增殖獎勵ノタメ要スル費用ニ對シ	圓 二一、六九四
茨城	同	四二、二〇五
栃木	同	三三、〇九〇
群馬	同	三五、三〇八
埼玉	同	三一、四〇〇
石川	同	一六、九八六
岐阜	同	二九、七〇一
愛知	同	三一、三三五
京都	同	一八、一四〇
兵庫	同	三〇、〇六六
岡山	同	三四、二一四
德島	同	一八、〇九一
愛媛	同	二五、七〇二
高知	同	一七、一六五
福岡	同	四二、一九八
佐賀	同	二六、五五四
長崎	同	二三、四〇九
大分	同	三一、九九四
鹿兒島	同	三七、〇〇六

◎都市賃銀概況　商工省ノ調查ニ係ル昭和八年九月ノ十三都市賃銀概況左ノ如シ(商工省)

全國(十三都市)賃銀指數(大正十年乃至十二年ノ全三箇年平均賃銀ヲ基準トシ單純算術平均ヲ以テ算出セルモノ)ハ總平均ニ於テ八月二厘方低下シタリシカ九月ニ入リテ七厘ヲ昂騰シ八二・六ト爲レリ　調查勞務者五十二種(內季節的勞務者ナルカ故ニ調查セサルモノ一種)中前月ニ比シ昂騰セルモノ十八種(內昂騰率最モ大ナルハ莫大小編女工ノ七分二厘ニシテ仕上工ノ六分九厘之ニ亞ク)、低下セルモノ六種(內低下率最モ大ナルハ疊工ノ四分九厘)、保合ノモノ二十七種ナリ　次ニ之ヲ十二分類別ニ觀レハ平均指數ノ最モ高キハ飲食料品工業ノ九八・四ニシテ以下漁夫、印刷製本業、金屬及機械器具工業、化學工業、窯業、下男及下女、纖維工業、木竹類ニ關スル製造業、被服及身廻品製造業、土木建築業順次之ニ亞キ　其最モ低キハ仲仕及日傭人夫ノ六七・〇ナリ而シテ之ヲ各其前月ニ比スルニ昂騰セルモノハ漁夫ノ二分三厘ヲ最高トシテ金屬及機械器具工業、印刷製本業、纖維工業、化學工業、飲食料品工業、土木建築業順次之ニ亞キ低下セルモノハ木竹類ニ關スル製造業ノ一分三厘ノミニシテ保合ノモノハ窯業、被服及身廻品製造業、仲仕及日傭人夫、下男及下女ナリ又之ヲ十三都市別ニ觀レハ平均指數ノ最モ高キハ大阪ノ九一・七ニシテ以下東京、横濱、神戶、廣島、金澤、小樽、函館、名古屋、新潟、京都、仙臺ノ順位ニシテ最モ低キハ高知ノ七二・五ナリ

尚ホ本月ノ總平均ヲ前年同月ニ比スレハ九厘ノ昂騰ニ當ル

十三都市別賃銀指數(昭和八年九月)

	東京	大阪	神戶	京都	名古屋	横濱	廣島	金澤	仙臺	小樽	函館	新潟	高知	平均	前月比較	前年同月比較
一般工業																
纖維工業																
製絲女工	七二	—	六九	—	五六	—	九一	九三	六八	—	—	—	八〇	七六	0	(十)一・三
綿絲紡績女工	七八	六七	六一	五三	六九	—	五三	七五	七八	—	五九	九四	—	六九	(十)一・五	(一)三・八
絹撚絲女工	六八	—	—	八九	七六	—	—	一二六	六九	—	一〇五	—	—	八七	0	(十)一・二
綿力織女工	六五	八〇	六〇	七四	六八	—	六九	六八	八七	—	四四	五三	—	六六	0	(一)四・八
絹手織女工	四九	—	—	五九	一〇五	—	—	—	四八	—	七〇	—	一一九	七五	0	(十)四・三
莫大小編男工	一二八	八二	八四	九九	一〇一	七四	七二	—	—	—	—	—	—	九一	(十)四・六	(十)五・八
莫大小編女工	一二六	八九	九五	九〇	一〇四	五四	六四	—	—	—	—	—	—	八八	(十)七・二	(十)八・五
平均	八四	八〇	七四	七七	九二	六四	七〇	八六	七〇	—	七〇	七四	一〇〇	七九・〇	(十)三・一	(十)二・三
金屬及機械器具工業																
旋盤工	一三七	九六	八七	六〇	五二	一〇〇	一二五	八七	八六	九〇	九〇	八八	六七	八八	0	(十)三・五
仕上工	一三九	一二七	八八	六三	四八	一〇〇	一一六	九四	七七	九〇	一〇三	九九	六四	九三	(十)六・九	(十)六・九
鑄造工	七七	一三六	八八	七二	一一七	七九	一〇四	九二	七七	八一	九一	七四	八一	八九	(十)一・一	(十)三・五
鍛冶工	一二五	一六四	八二	六九	一一四	七四	一四一	一〇八	七二	九五	一〇六	七四	六〇	九八	(十)一・〇	(十)六・五
木型工	一一一	八〇	八七	九五	八六	一〇四	一二七	九八	六六	七八	八五	七〇	—	九一	(十)二・二	(十)四・六
平均	一一四	一一一	八六	七二	八一	九一	一二一	九六	七六	八七	九五	八三	六八	九二・〇	(十)三・二	(十)五・〇
窯業																
陶器燒罏工	八三	一一一	八五	六〇	一三六	一二六	—	八八	五一	—	九四	—	五六	八九	0	(十)六・〇
硝子製造工	一〇九	一〇三	八九	—	七一	九六	六一	九三	一〇五	八八	一〇四	八三	五三	八八	0	(一)一・一
「セメント」製造工	八五	一三五	一一四	—	一〇〇	—	—	—	—	—	—	—	九五	一〇六	0	(一)一・九
煉瓦製造工	—	八八	四九	六二	—	—	一〇四	四二	六八	—	六五	八一	—	七〇	0	(十)九・四
瓦製造工	五七	—	五五	六〇	—	—	—	四四	七二	—	八二	—	四七	六〇	0	(十)五・三
平均	八四	一〇九	七八	六一	一〇二	一一一	八三	六七	七四	八八	八六	八二	六三	八二・六	0	(十)二・七
化學工業																
製藥工	九五	一四七	一五四	—	—	—	八六	—	—	—	—	九三	—	一一五	(十)四・五	(一)四・四
燐寸製造男工	四四	四四	五五	—	七七	—	六八	六七	—	—	—	七二	—	六一	0	(一)一〇・三
燐寸製造女工	七一	—	七一	—	六五	—	五一	五七	—	—	—	五四	—	六二	0	(一)八・八
搾油工	九三	一一〇	九四	—	—	七七	七九	八五	五四	九三	七五	—	—	九四	(一)一・二	(十)一・二
和紙製造工	一〇三	—	九九	—	—	—	九一	—	—	一三六	—	—	八五	一〇三	(一)一・〇	(一)五・五
洋紙製造工	一二三	一三三	九一	八〇	—	—	九八	—	—	—	—	一一九	—	一〇六	(十)一・〇	(十)一・九
製革工	—	八八	八〇	—	—	—	五八	—	—	—	—	—	—	七五	0	(十)一・四
平均	八八	一〇三	九二	八〇	七一	七七	七六	七〇	五四	一一五	七五	八五	八五	八六・六	(十)〇・七	(一)三・〇
飲食料品工業																
製粉工	九七	一一八	一一九	—	八四	一〇六	—	—	一三三	一一〇	—	五八	—	九九	(十)二・一	(十)三・一
清酒釀造工	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
醬油釀造工	一四一	—	七九	一〇四	六九	一五九	一〇四	八七	八一	六九	一〇〇	八六	九一	九八	0	0
精製糖工	一三三	一一三	一三七	—	—	—	—	—	—	九八	—	—	—	一一八	0	(十)二・六
菓子製造工	一〇四	六七	九三	一〇一	六〇	八六	七六	六〇	八一	七八	一〇〇	一〇四	一三五	八七	(十)一・二	(十)二・四
罐詰工	一〇三	七〇	—	九七	—	—	九〇	—	—	—	—	—	—	九〇	0	(十)二・三
平均	一一五	九二	一〇五	一〇一	七一	一一七	九〇	七四	九五	八九	一〇〇	七六	一〇八	九八・四	(十)〇・六	(十)五・五
被服及身廻品製造業																
洋服仕立工	八一	一〇四	五五	六七	六五	五一	六九	八三	八一	五四	七五	七九	一二五	七六	0	(一)三・八
靴工	一三〇	六〇	七八	七九	八四	八一	六六	六九	七四	六九	九四	八六	六七	八〇	0	(十)二・六
下駄工	四七	五三	八八	七八	六四	九四	六八	七三	八七	七一	九三	五六	七八	七三	0	0
平均	八六	七二	七四	七五	七一	七五	六八	七五	八一	六四	八七	七四	九〇	七六・三	0	(一)〇・五
木竹類ニ關スル製造業																
製材工	五一	八九	七七	五六	九五	七一	九一	八一	七〇	九九	六四	四四	四八	七四	(十)一・四	0
指物工	六三	八〇	九三	八三	一〇〇	八三	三九	六四	五八	六二	一〇三	六〇	七〇	七四	0	(十)二・八
漆器工	六九	九〇	六四	八九	七九	七七	七六	七五	七三	—	九六	九一	七五	八〇	(一)二・四	(一)一・二
製綱工	七七	八三	一〇四	—	八五	—	—	—	—	—	—	—	—	八七	0	(十)二・四
疊工	八〇	一〇九	五五	九〇	六五	八八	六八	八九	九〇	五八	七四	五四	—	七七	(一)四・九	(一)二・五
平均	五八	九〇	七九	八〇	八五	八〇	六九	七七	七三	七三	八四	六五	六四	七八・二	(一)一・三	(十)〇・三
印刷製本業																
活版植字工	一〇四	一〇三	八四	九三	九七	一三三	一四一	九三	八五	八一	八八	一〇九	一〇六	一〇〇	(十)一・〇	(一)一・〇
製本工	九三	七七	八一	一一一	七八	一〇九	一〇一	一一〇	七〇	八九	四三	九〇	七五	八七	(十)五・六	(十)五・六
平均	九九	九〇	八三	一〇二	八八	一一六	一二一	一〇三	七八	八五	六六	一〇〇	九一	九三・五	(十)二・二	(十)一・一
一般工業平均	九二	九七	八四	七九	八四	九一	八五	八一	七六	八四	八四	七九	七九	八五・四	(十)〇・七	(十)一・三
土木建築業																
大工	五九	七三	七六	六五	六四	五六	七一	七九	六六	六一	六〇	六八	四七	六五	0	(一)五・八
左官	六〇	七七	七三	六八	六四	六五	八三	八八	八四	六七	六七	六二	四九	七〇	0	(一)六・七
石工	六六	七六	七二	六〇	六八	五三	七三	八八	六六	七二	六八	六二	三七	六六	0	(一)二・九
煉瓦積工	六八	八五	七二	六九	七七	七四	七一	八七	七一	六七	七四	六三	三六	七〇	0	(一)一・四
瓦葺工	六八	六八	六二	六九	八二	六六	七一	八六	七八	六九	七〇	六二	四一	六九	(十)一・五	(一)一・四
「ペンキ」塗工	八二	七七	七六	八〇	八四	七九	七七	九三	七二	一一〇	六七	七一	九三	八二	0	(一)一・三
平均	六七	七六	七二	六九	七四	六六	七四	八七	七三	七四	六八	六五	五〇	七〇・三	(十)〇・一	(一)三・三
雜業																
仲仕及日傭人夫																
仲仕	八七	六八	六四	八五	六九	九七	八四	六八	六一	六三	五七	九八	七五	七四	(十)一・四	(十)三・八
日傭男人夫	七二	六三	七〇	七二	五二	六〇	七八	五七	六六	六三	三六	六一	二九	六〇	(一)一・六	(一)一・六
日傭女人夫	七五	—	一一三	五六	四三	七二	六八	五九	八〇	八五	三〇	六七	三五	六七	0	(十)一・五
平均	七八	六六	八二	七一	五五	七六	七七	六一	六九	七〇	四一	七五	四六	六七・〇	0	(十)一・一
漁夫	一三四	—	一三三	—	—	—	—	—	—	七〇	—	一〇〇	六一	九七・三	(十)三・三	(十)三・一
下男及下女																
下男	七三	九二	七八	八一	五〇	八三	八〇	六〇	七九	六一	九一	八四	一〇〇	七八	(十)一・三	(十)三・六
下女	八三	八〇	九一	八三	六三	八七	八六	八一	八〇	六〇	八六	七九	一二四	八三	(一)一・三	(十)一・三
平均	七八	八六	八五	八二	五七	八五	八三	七一	八〇	六一	八九	八二	一一二	八〇・五	0	(十)一・九
雜業平均	八七	七六	九〇	七五	五五	八〇	七九	六五	七三	六七	六〇	八二	七一	七六・五	(十)〇・四	(十)一・七
總平均	八八・一	九一・七	八三・四	七六・八	七七・四	八四・九	八二・八	七九・七	七五・一	七九・三	七八・〇	七七・〇	七二・五	八二・六	(十)〇・七	(十)〇・九

	東京	大阪	神戶	京都	名古屋	横濱	廣島	金澤	仙臺	小樽	函館	新潟	高知
前月比較	(十)一・四	(十)〇・五	(十)〇・六	(十)〇・七	(十)〇・三	(一)〇・二	(十)一・八	(十)〇・五	(十)〇・三	0	(一)〇・一	(十)一・一	(十)〇・七
前年同月比較	(十)二・七	(十)三・七	(十)一・三	(一)〇・九	(十)三・九	(十)〇・二	(十)一・二	(十)一・七	(十)一・一	(一)〇・五	(十)一・七	(一)一・四	(十)〇・九

(備考)　本表ノ指數ハ大正十年乃至十二年ノ全三箇年平均賃銀ヲ基準トシ單純算術平均ヲ以テ算出セルモノナリ「(十)」ハ騰貴(一)ハ下落ヲ示ス

◎外國保險會社ノ日本ニ於ケル代表者代理人解任　東京府東京市麴町區丸ノ內三丁目四番地「ゼ、コンチネンタル、インシュランス、コンペニー」及「ゼ、ホーム、インシュランス、コンペニー」ノ日本ニ於ケル代表者ウォリアム、ダブリュ、グラスハ海外旅行中ノ處去月十九日歸任セルニ依リ不在中ノ代理人「ハワード、ビー、ペーディー」ヲ解任シタル旨屆出アリタリ(商工省)

地方行政

◎縣會　千葉縣ニ於テ本月二十一日通常縣會ヲ招集ス(千葉縣)◎茨城縣ニ於テ同十五日通常縣會ヲ招集ス(茨城縣)◎青森縣ニ於テ同日通常縣會ヲ招集ス(青森縣)◎石川縣ニ於テ同十六日通常縣會ヲ招集ス(石川縣)◎宮崎縣ニ於テ同十八日通常縣會ヲ招集ス(宮崎縣)

觀象

◎初霜

地名	本年初日	昨年比較	平年比較
網走	十月三十一日	六日晚シ	二十一日晚シ
石卷	十一月一日	十六日早シ	一日早シ
青島	同	十日早シ	十三日早シ
濟南	十月二十四日	早晚ナシ	九日早シ

◎初雪

地名	本年初日	昨年比較	平年比較
敦香	十月三十一日	一日早シ	十四日晚シ
新義州	十一月一日	二十六日早シ	

◎全國氣象表(正午觀測)

(備考)　氣溫ノ前ニ印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降水量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ總量ナリ

十一月一日

地名	氣壓(粍)	風向	風速(米)	氣溫(攝氏)	天氣	降水量(粍)
臺北	762.0	北西	3	27	晴	2
[illegible]	762.6	東南東	6	26	曇	17
鹿兒島	765.1	北東	2	20	曇	8
高知	766.3	靜穩	1	23	晴	14
大分	765.2	南東	2	22	曇	—
多度津	765.4	北北東	4	19	晴	7
廣島	765.7	靜穩	1	20	曇	16
大阪	766.4	靜穩	1	21	快晴	18
長崎	764.6	東	3	18	曇	5
福岡	764.9	南	5	21	曇	8
濱田	764.5	西南西	3	21	晴	18
名古屋	768.0	靜穩	1	18	煙霧	19
横濱	768.7	北	9	15	曇	13
東京	768.8	靜穩	1	14	曇	14
銚子	768.6	南南東	4	18	晴	26
長野	766.5	靜穩	1	14	快晴	1
前橋	768.5	靜穩	1	14	快晴	—
宇都宮	768.8	南西	2	15	霧靄	6
福島	767.7	南西	2	13	霧靄	3
新潟	765.7	南	5	20	快晴	10
秋田	767.3	南南東	6	16	晴	4
石卷	766.7	南	4	14	霧靄	25
盛岡	767.5	靜穩	1	13	霧靄	6
青森	765.7	南	6	11	霧靄	3
函館	764.6	西南西	6	15	晴	13
札幌	764.6	南東	3	14	快晴	13
旭川	763.8	南	2	13	快晴	2
根室	764.1	靜穩	2	11	晴	6
大泊	762.6	西北西	1	12	快晴	—
釜山	763.4	靜穩	6	18	快晴	7
仁川	765.1	南東	1	5	曇	—
元山	762.0	南西	4	9	雨	6
城津	759.7	南	4	13	曇	—
新義州	765.5	北北東	7	14	雨	1
大連	766.8	北	5	5	雨	1
奉天	768.9	北	12	6	曇	1
新京	765.4	西	7	1	快晴	—
[illegible]	770.8	北	6	1	晴	—
[illegible]	766.0	北西	5	10	快晴	—
上海	766.3	北西	3	17	曇	—

官報　第二〇五五號　昭和八年十一月六日　月曜日

第2055号　本文